

平成28年度

— 第14回（定例・臨時） —

## 教育委員会議事録

開 会	平成28年12月15日	10時00分				
閉 会	平成28年12月15日	10時45分				
会議場所	教育委員室					
委員出欠	花山院弘匡	出	佐藤 進	出	森本哲次	出
	藤井宣夫	出	高本恭子	出		
議事録署名	教 育 長					
委 員	教育長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

## 議 案 及 び 議 事 内 容

○吉田教育長「ただ今から、平成28年度第14回定例教育委員会を開催いたします。本日は全員出席で、委員会は成立しております。」

### その他報告事項

○吉田教育長 「その他報告事項について、ご報告をお願いします。」

○深田学校教育課長 「10月29日土曜日から11月23日水曜日の期間において、奈良県高等学校文化連盟と奈良県教育委員会の主催で、第31回奈良県高等学校総合文化祭を開催しましたので、ご報告します。

大会テーマは『踏み出す新たな一歩 新風を巻き起こせ』とし、県内高校生が17の部門に分かれ、県内各地において地域の伝統文化を伝えつつ、若くしなやかな感性と力強い生命力あふれる演奏や演技、競技、作品展示発表並びに交流を行いました。大会を通して3,248人の生徒のほか、保護者等を含む観客者8,922人の参加がございました。

11月23日に奈良県文化会館で開催しました総合発表では、森本委員にもご出席いただき、吉田教育長からの主催者挨拶の後、17部門のデモンストラーションが行われました。この他、ジャパン・マレーシア交流プロジェクト2016で来日中のラワン高等学校の生徒による伝統舞踊の紹介がありました。

本総合文化祭を通して、高校生の若々しい躍動感に満ちた舞台、演奏、演技、作品等の発表をみて、改めて高校生の文化度の高さを実感いたしました。今後も高校生による芸術文化活動の更なる充実に努めていきたいと考えています。

引き続き、職業に関する学科で学ぶ高校生と、産業に関わる教育活動を行っている特別支援学校や中学生が日頃の成果を全県的な規模で発表する場として、11月19日土曜日にイオンモール橿原において、第25回奈良県産業教育フェアを開催いたしましたので、ご報告します。

今回のテーマは『つかめ夢 輝け未来 奈良から始まる物語』でした。専門学科に学ぶ高校生達が、将来のスペシャリストとして、日頃の成果を奈良の地から世界に発信したいという思いがこめられています。

当日は朝から雨模様でしたが、強い雨にはならず、外でのイベントも実施することができました。このような商業施設では、晴れた日よりも雨の日が来客数が多いようで、たくさんの方に来ていただくことができ、そのような意味では天候に恵まれたと思います。昨年度は奈良情報商業高等学校で開催しましたが、広く県民の皆様に来ていただくという趣旨では、このような会場のほうが適していると思います。

ちなみに各ブースでの来場者の概数は、延べ5,700名でした。昨年度の奈良情報商業高等学校での開催においては約2,000名でした。来年度もイオンモール橿原で開催を予定しています。研究・体験発表、即売、進路相談まで、多様なメニューを用意し、広いイオンモール橿原全館でのイベントを開催しました。どのブースもとても盛況で、来場された方々にも楽しんでいただけたと感じています。また生徒の対応も大変丁寧で、先生方の日頃の指導が行き届いており、学校の教育活動や先生や生徒の皆様の努力がこのような機会に素晴らしい成果となって現れていたと思います。

30年の長きにわたり、本県の産業教育に対する教育活動や研究活動等に顕著な功労のある先生方が、産業教育振興中央会から御下賜金記念産業教育功労者として表彰されました。これからも奈良県産業教育フェアを通して、新しい時代に対応する産業教育の在り方を探るとともに、産業教育に対する理解と協力を促し、産業教育の充実に努めたいと思います。

以上です。」

○吉田保健体育課長 「平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてご報告します。先週に文部科学省からデータ等の提供を受け、月曜日に記者レクをさせていただきました。なお朝刊の解禁は明日（12月16日）となっています。

本年度も悉皆で調査が実施されました。体力合計点について、小学5年生男子は53.57点で、8種目中3種目で全国平均を上回り、残り種目についてもほぼ全国平均並となりました。昨年度

## 議案及び議事内容

の53.66点より0.09点下がっています。全国順位は昨年度26位が今年度は27位となりました。ほぼ全国平均並ですが、全国が若干伸びたため、差が広がったといえます。

小学5年生女子は、体力合計点が55.00点で、8種目中2種目で全国平均を上回っています。昨年度の54.6点より0.4点上がっています。全国順位は昨年度35位から、今年度は33位となっています。

男子と女子の合計点を合わせた男女総合では、108.57点で、昨年度の108.26点より0.31点上がっています。全国順位は30位で昨年度と同じです。相対的な変動はありませんが、絶対値としては体力合計点が右肩上昇を維持している状況です。

中学2年生男子は、体力合計点が43.11点で、9種目中5種目で全国平均を上回っています。昨年度の42.73点より0.38点上がっています。全国順位は15位で昨年度と同じです。平成20年度調査開始以降2年連続で過去最高値を更新しています。右肩上昇で全国より高い状況が続いています。

中学2年生女子は、体力合計点が49.51点で、9種目中2種目で全国平均を上回っています。昨年度の48.8点より0.71点上がっています。全国順位は昨年度27位が、本年度は25位となりました。女子についても、平成20年度調査開始以降、2年連続で過去最高値を更新して、ほぼ全国並です。

男女総合では、91.69点で昨年度の90.97点より0.72点上がっており、全国順位は昨年度20位であったのが、今年度は過去最高の17位でした。本県はスタートが低位というのがありますが、明らかな右肩上昇を続けています。男女総合でも中学生は全国平均より高い体力を保持しているということになります。

種目別の経年の推移について、小学5年生男子では、本年度反復横とびで過去最高値を更新しています。小学5年生女子については、上体起こしや反復横とび、20mシャトルランの3種目で過去最高値を更新しています。一方立ち幅とびでは過去最低値となり、分析が必要です。

中学2年生は男女ともに、上体起こし、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とびの6種目及び体力合計点において過去最高値を更新することができました。体力合計点が年々上昇し、男女ともに2年連続で過去最高値を更新し、男子は全国平均以上、女子はほぼ全国平均並となりました。

運動習慣等調査結果について、主なものについてご報告します。

『運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることの好き・きらい』について、小学生、中学生とも男子で、好きと回答している割合が減少していますが、女子は昨年度より増加しています。

『ふだんの1週間の総運動時間』は、60分未満の児童・生徒の割合が残念なことに増加傾向となっています。このことから運動習慣のない子どもたちへの運動のきっかけづくりが必要と考えています。

『ふだんの平日、一日のテレビ・ビデオ等の視聴時間』は小学生、中学生とも、3時間以上の児童・生徒の割合が大変多く、中でも1日5時間以上は全国平均を大きく上回っています。

『毎日の睡眠時間』は小学生、中学生とも、8時間以上の割合は全国平均より低く、逆に6時間未満は全国平均以上となっていて、睡眠時間が短い傾向にあります。

これらの結果を踏まえ、今後運動、スポーツが嫌い、苦手と考える児童・生徒や、運動習慣をもたない児童・生徒への働きかけが重要であると考えており、児童・生徒が興味、関心をもって取り組める授業の展開や、幼稚園教員を対象とした研修会を開催し、本課ホームページに掲載している『幼児を夢中にさせる運動遊びプログラム』や『おうちで体力アップカード』等の活用を働きかけていきたいと考えています。また小・中・高の体育関係団体で構成される体力向上推進連絡会との連携を今まで以上に密接にすることで、今後も体力向上に向けた取組の推進を図っていききたいと考えています。

続いて、親子ふれあい運動遊び教室についてご報告します。運動する子としない子の二極化が全国的に進んでいますが、そういった傾向が続いている中、幼児、小学生低学年とその保護者が、身体を使った運動遊びの楽しさを実感することで、幼少期から身体を動かすことの楽しさ、大切さを保護者に啓発して、進んで体力向上に取り組もうとする意識を高めることを目的に開催しています。

## 議 案 及 び 議 事 内 容

昨年度から開催しており、本年度で2年目となります。本年度の内容は『レッツ！親子運動遊び』ということで、4日間にわたり大阪青山大学健康科学部の村田先生のご指導の下に、『子どもの運動能力を伸ばす親子スキンシップ体操』や『親子かけっこ』、『跳び箱や平均台などいろいろな用具を使っての運動遊び』等を展開していただきました。また『子どもを夢中にさせる運動遊び』ということで 奈良県ラグビーフットボール協会のタグラグビー委員会の方々にご協力をいただき、大和郡山市と大淀町でタグラグビーを展開しました。

本年度は6箇所で開催していただきました。参加者からは特にお父さん、お母さんからは本当によかった、このような教室をもっと開催して欲しいとの声がありましたし、講師の指示に従って動いている子どもたちの姿や笑顔を見ていると、就学前或いは低学年の子どもたちへの働きかけが大切であることを感じました。

このような機会を通じて、多くの子どもが運動に親しみ、運動好きになるような取組を進めていきたいと考えています。

以上です。」

○尾登文化財保存課長 「平成28年度新規事業の『文化財“体感”事業 体感！練供養と當麻寺の至宝』の実施についてご報告します。

本県文化財の素晴らしさを身近に感じていただくため、今回は當麻寺のご協力を得て、12月4日に2部に分けて実施しました。内容は練供養を特別に実演していただきました。また、當麻曼荼羅について、どのように修理しているかを、本課美術工芸の職員が詳細に説明するという形で実施しました。また當麻寺では、今年から西塔の修復をしており、このことについて文化財保存技師から解説をするといったことも実施しました。

定員は60名のところ162名の応募がありましたので、全員が参加できるようコースを工夫しました。（開催について）まほろば館でもチラシを配布する等PRを行ったため、東京から2名、横浜から1名来ていただきました。今後も引き続いて首都圏もPRしたいと感じたところです。朝からは葛城市長もお越しいただきました。

参加者からは、通常見られないことが見られて良かったといった感想をいただきました。専門職員がいつも貴重な文化財に接していますが、一般には触れられないため、今回は社寺のご協力、ご配慮を得て一般の方にも触れさせていただくことで、多くの方に関心をもっていただけたらと考え、文化財保存課が企画しましたものです。

1月28日に、今度は天理市長岳寺から龍王山城跡、黒塚古墳といった史跡をめぐる企画で実施する予定です。

以上です。」

○吉田教育長 「このことについて、何かご意見、ご質問はございませんか。」

○吉田教育長 「立ち幅とびがここまで悪くなる原因は何でしょうか。」

○吉田保健体育課長 「調査対象の小学5年生が特異な学年なのか、小学3、4年生の時の状況もみないと、明確には分かりません。」

○花山院委員 「測定方法に問題があることはないのでしょうか。」

○吉田保健体育課長 「調査開始当時は小学校は体育専科の先生がいないので、測定の仕方自体が統一されていない、或いは間違った方法で測定していたこともありましたが、現在は測定方法にはほとんど問題はないと思います。」

○森本委員 「親子ふれあい運動遊び教室について、例年と比べて状況はどうだったのでしょうか。イベントの周知についてはどうしていますか。」

○吉田保健体育課長 「昨年度の参加者は約300名でしたので、本年度は若干増えています。」

## 議 案 及 び 議 事 内 容

周知については、市町村教育長会で案内文書を配布するほか、小学校体育研究会を通じて全ての小学校に通知しています。就学前の子どもの保護者への周知については、開催する市町村教育委員会と連携して、パンフレット等を作成し、最寄りの幼稚園、保育園に配布しています。ホームページにも掲載しています。」

○吉田教育長 「開催箇所はどのように決めていますか。」

○吉田保健体育課長 「可能な限り昨年度とは違う市町村とすること、またタグラグビーには安全面から芝生化されたグラウンドなどを会場にする等、総合的に検討して決定しています。」

○吉田教育長 「小学校区だと参加しやすいといった意見もあります。小学校で幼稚園児などに親子で参加してもらうことは、ふだんから子育てに悩みをもっている親同士で話し合える場にもなるので良いと思います。」

予算のこともあり難しいと思いますが、できるだけ広く実施できるようよろしく願いします。」

○佐藤委員 「配布された資料には、口頭でご説明いただいたことが載っていないものが多いです。後に役立つような時もあるかもわかりませんので、できるだけ文書化して資料にして下されば良いと思います。」

体力を上げるために、取組等がありますか。」

○吉田保健体育課長 「小学校では基本的に、運動好きを作ろうというのを一番の目標としています。そのために基本は各学校単位で体力向上推進プランを考えていただいており、それを市町村教委に提出いただいて確認の上、県教委に提出いただいています。それに基づき、自校の子どもの体力の実態を知って課題は何か、その改善に向けた取組を、学校ごとに例えば1校1運動等といった形で取り組んでいただいています。」

県では外遊びチャレンジということで、ホームページでシーズンごとに様々な運動を紹介し、インターネット上で登録して競い合う事業を展開しています。その成果を発表する場として1年間に1度、本年度は2月に実施しますが、縄とびで競う『チャレンジ運動大会』を檀原にある県立ジェイテクトアリーナで実施することとしています。」

以上です。」

○吉田教育長 「他にご意見、ご質問が無いようですので、原案どおり承認してよろしいか。」

※各委員一致で承認

○吉田教育長 「その他報告事項については承認いたします。」

○吉田教育長 「それではこれもちまして、本日の委員会を終了します。」